新聞、雑誌・チラシ、段ボール　月２回収集

出し方

新聞、雑誌・チラシ、段ボールの３種類に分けて、ひもで十字に縛ってください。
決められたごみステーションに収集日の午前８時30分までに出しましょう。

新聞

新聞だけを縛る。

雑誌・チラシ

小さい紙は、雑誌や二つ折りのチラシにはさむか古封筒に入れる。

段ボール

段ボールだけを縛る。

断面▶

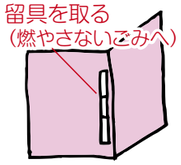
お願い　**雨や雪の日でも、ポリ袋や紙袋には入れないでください。**

主な雑誌・チラシ

週刊誌

紙ファイル

留具を取る（燃やさないごみへ）



カレンダー

金具を取る（燃やさないごみへ）

カタログ、パンフ

窓明封筒、封筒

セロハンを取る（燃やさないごみへ）

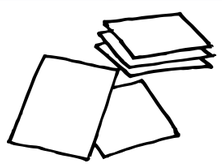
ラップの箱

カッターの刃を取る（金属製の刃は燃やさないごみへ）

ティッシュの箱

フィルムを取る（プラスチック容器包装材へ）

画用紙、半紙、コピー紙



はがき、名刺

メモ帳

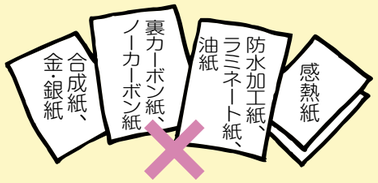
ポスター

包装紙、紙袋、ボール紙、紙箱

これらは、新聞、雑誌・チラシ、段ボールには出せません。

「燃やすごみ」に出しましょう。

加工紙

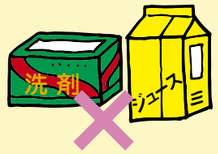


感熱紙はツメでこすると黒くなります。レシートやファクシミリ用紙などに使われている場合があります。

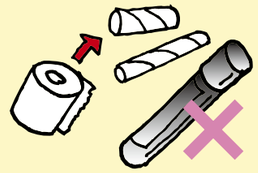
【ラミネート紙の見分け方】
静かに破いてみるとフィルムの膜が見えます。

シール、シール台紙

写真



トイレットペーパーやラップの芯、紙筒



紙製の卵パック

＊牛乳パックは、店頭回収しているお店に出しましょう。

Q&A

Q 古紙類は、雨や雪の日に出してもいいの？

A 雨や雪の日でも収集します。
古紙の品質を保つため、大雨や台風、大雪など荒れた天気の場合は、できるだけ次の収集日まで保管するか、ブルーシートをかけるなどのご協力をお願いします。

Q 紙マークがあるものは、全て雑誌・チラシに出していいの？

A 紙マークがあっても、耐水加工されていたり、アルミ箔が貼ってあるものや緩衝材は「燃やすごみ」です。

新聞、雑誌・チラシ、段ボールのゆくえ

【不適物を手作業で取り除きます】

①収集した紙類は、古紙業者へ運びます。
②新聞、雑誌・チラシ、段ボールごとに選別、梱包して製紙メーカーへ送られます。
③新聞は新聞紙や週刊誌などに、雑誌・チラシは洗剤やお菓子の箱などに、段ボールは段ボールなどにリサイクルされます。

【圧縮・梱包された紙】